

作法 3 もてなしと賑わいの空間づくり

建物の用途に応じ、それぞれ適した形で外に開かれたものにとすると、もてなしと賑わいの空間をつくれます。

■現代の街なみの魅力を高めるための基本の作法

①景観形成基準の安全空間の確保と、もてなしと賑わいの空間の形成

景観形成基準の安全空間の確保と併せて、1階の店舗やセットバック部分に憩えるしつらえを設けることにより、街道に対してもてなしと賑わいの空間をつくることができます。



1階にショーウィンドウを設けたり、店舗やマンション入口に小さなオープンスペースや植栽を設けた事例

開放的な中庭を設けて、憩いの空間を提供している事例

②白を基調としたセットバック部分の舗装による街なみづくり

セットバック部分の舗装面は、大山街道の神社仏閣などの参道に用いられている御影石を想起させる白を基調とした石やタイルを用いると、大山街道らしいしつらえとなります。



溝口神社の参道



宗隆寺の参道



御影石を想起させる白を基調とした舗装の事例

■和の街なみを意識した応用の作法

①和の街なみを意識したもてなしのしつらえづくり

1階部分や足下(舗装面)では、和の街なみを意識したしつらえにより、もてなしの空間が演出できます。



和のデザインによるもてなしの空間の事例